

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	50	豊田市立 五ヶ丘小 学校	代表	加藤 浩章
------	----	--------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	ふるさと五ヶ丘に学ぶ	分野	f	交流体験
サブテーマ	地域に学び、ふれあい、活動する子の育成	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>①学びを核として、さまざまな体験活動の充実を図り、地域の人々との交流や異年齢集団におけるふれあい活動を通して、他を思いやることのできる豊かな心の育成を図る。</p> <p>②自分を取り巻く環境に目を向けさせ、地域の一員としての自覚を高めるとともに、自然や命を大切にすることを養う。</p> <p>③学校行事、児童会活動を児童たちが自らの手で創り上げようとする活動を通じ、児童の自主性を育て、充実した学校生活を送ろうとする意欲を高める。</p>			
活動内容・計画	<p>①栽培・飼育活動、環境保全など、地域の指導者を講師にして学ぶ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花や野菜の栽培(全学年)、ホテル学習(6年)など <p>②地域のボランティアの方から学び、地域の方々と交流する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャボン玉遊び、昔の遊び体験、ものづくり体験、お年寄りとの交流など <p>③異年齢交流を通して、他を思いやる心の育成を図る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班活動による異学年交流 <li style="padding-left: 20px;">4月：1年生を迎える会 5月：サツマイモ苗植え 6月：ファミリー遠足 10月：サツマイモの収穫 <li style="padding-left: 20px;">10月：運動会 12月：学習発表会 1月：感謝する会 2月：なわとび大会 3月：6年生を送る会・縦割り班お別れ会 <p>④地域の人材を活用し、各教科、領域等の学習を充実させる活動の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動講師・英語ボランティア・本の読み語りボランティア・学生ボランティア・書写ボランティアなど <p>⑤自他の命を大切にすることを育む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会、福祉車両体験など ・いのちの学習授業講師 <p>⑥学校行事、児童会活動を通して自主性を育てる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、学習発表会(総合的な学習の発表)など ・ファミリー清掃、ファミリー遊びなどのファミリー活動 <p>⑦環境整備・美化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五ヶ丘の森、学校菜園、五ヶ丘ランドの整備など 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員 			
実績・期待される効果	<p>①地域の方々と交流することは、子どもたちにとってよい体験の場となるばかりでなく、地域の人々やお年寄りなどを敬う気持ちを高めることにつながる。また、地域のよさを知り味わうことで、将来にわたり伝統を守っていこうとする意識を高めることができる。</p> <p>②異年齢と交流する活動を通して、他を思いやる優しい心が育つ。</p> <p>③地域の各種ボランティア人材を活用することで、学習活動の充実を図り、子どもの意欲・関心を高めることができる。</p> <p>④全学年で健康・安全の学習を系統的に行ったり、自己を振り返り見つめ直す学習を行ったりすることで、自尊感情を高め自他の命を大切にすることを高めることができる。</p> <p>⑤学校行事や児童会行事等で、児童の主体的な活動を取り入れることにより、自主性を高めることができる。</p> <p>⑥校内整備員や地域の人材を活用して環境整備・美化を効率的に行うことにより、教職員の負担軽減を図ることができる。</p>			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ○各活動・行事ごとに調査する児童からのアンケート結果より、向上心や意欲の高まりを検証する。 ○保護者アンケート結果を前年度と比較・考察し、検証する。 ○学校運営協議会や行事後の学校運営協議委員会からの意見により検証する。 			